

# スターバックスでラテを 飲みながら憲法を考える

松井茂記 編著

2016年5月発売 / 320頁 / 本体 2300円+税  
四六判 / 並製



編集  
担当者  
から

「なにそれ?」「有斐閣らしくない」「緑のマーメイドからの回し者?」などなど。どのよう  
に受け止められるかは多様だと思いますが、かなりインパクトのある書名であることは間違  
いないかと思えます。もちろん回し者ではありません。

本書で取り上げた項目は、あまりこれまで取り上げられることがなかったテーマで、今後において重  
要な論点となりうるような問題です。ご執筆者は、1955年前後にお生まれになった「憲法55年の会」  
の先生方ですが、大学での講義やゼミのような雰囲気ではなく、あたかもスターバックスでラテを飲み  
ながら考え議論するような雰囲気のもと、さまざまな問題提起をしていただきました。知的好奇心を刺  
激する内容になっています。

装丁と造本にもこだわってみました。内容を味わっていただくのはもちろん、本の仕上がりも眺めて  
楽しんでいただければ幸いです。(T)

Index



少しでも多くの方々に本書を読んでいただき、議論が深まってほしい、との期待が込められています。

- |   |   |
|---|---|
| <p>1 安らかに死なせてほしい<br/>—— 尊厳死の権利および安楽死の権利<br/>松井茂記</p> <p>2 死者の個人情報の行方<br/>—— 死者とプライバシーの権利 渋谷秀樹</p> <p>3 憲法はアイヌ民族について何を語ってい<br/>るか<br/>—— 個人の尊重と先住民族 常本照樹</p> <p>4 イメージ一枚で四億円?<br/>—— チャイルド・ポルノグラフィ抑止の値段<br/>と表現の自由 紙谷雅子</p> <p>5 集会をどこでするか<br/>—— 集会・表現の自由とその行使場所<br/>内野正幸</p> | <p>6 「全国民の代表」とは何か<br/>—— 国会議員の地位 赤坂正浩</p> <p>7 Short, Tall, Grande, or Venti?<br/>—— 現代の行政権 棟居快行</p> <p>8 顔ぶれが変われば憲法判例も変わる?<br/>—— 憲法判例と最高裁判官人事<br/>市川正人</p> <p>9 裁判のことを知っていますか?<br/>—— 「裁判の公開」原則は裁判情報を伝達す<br/>る役割を果たしているか 笹田栄司</p> <p>10 集団的自衛権は放棄されたのか<br/>—— 憲法九条を素直に読む 安念潤司</p> <p>11 国王も神と法の下にある<br/>—— 「絶対王政」対「法の支配」?<br/>長谷部恭男</p> |
|---|---|